

札幌市長

秋元 克広 様

2019年度札幌市 予算編成に対する要望書

2018年12月13日

札幌市議会民主市民連合議員会

会長 ふじわら 広昭

はじめに

札幌市政の発展、並びに市民生活の向上に向け、ご尽力されていますことに心から敬意を表します。

内閣府が発表した11月の月例経済報告では「景気は緩やかに回復している」とされていますが、景気回復の実感は乏しく、金融政策頼みの財政運営の限界を端的に表しています。

一方、日本は人口減少という時代の転換点を迎え、経済的・社会的格差の拡大や固定化、社会保障制度の持続可能性への不安、また産業構造や雇用環境、地域社会の変容などから、多くの国民が将来に対して不安を抱いております。

こうした不確実な時代に直面する今、持続可能なまちづくりに向けて舵取りを担う秋元市長の責任は重く、我が会派もともに、市民議論を重ねて直面する課題に挑戦していく決意です。

3年7ヶ月前の市長就任後、速やかに「まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2015」を策定し、新たな雇用創出に向けた経済活性化や、安心して子どもを産み育てることができる社会の実現に取り組むとともに、女性の活躍に資する事業に力点を置かれ、市政運営を行ってきました。

2015年の選挙公約のすべてがアクションプランに盛り込まれ、観光施策では、1500万人を超える観光客と250万人を超える外国人宿泊者は過去最多を記録しました。また都心に民間投資を呼び込み、街のリニューアルを進めて税収増を実現、さらには、約5400人分の保育定員を拡大し、国定義の待機児童ゼロを達成、障がい者や性的マイノリティを支援する共生社会の実現に向けた取り組みを推進してきており、公約の多くは達成済みであり、我が会派としても高く評価するところです。

2019年度予算は、来年4月に市長選挙を控えているため、骨格予算として編成されることとなりますが、北海道胆振東部地震等による被害からの復旧・復興や被災者支援、防災・減災対策などについては、最優先課題として対応していくものと考えます。

また、これまでの経済活性化や子育て支援、子どもの貧困対策、女性の活躍推進に向けた取り組みはもとより、超高齢社会に対応した医療・福祉施策の充実などの課題も山積しております。

限られた財源の中で、選択と集中をしっかりと行い、人々を魅了してやまない街・札幌のさらなる飛躍を目指して、以下、我が会派が取りまとめた要望を2019年度予算へ反映されるようお願い申し上げます。

【重点項目】

1. 人口減少対策

仕事と家庭の両立など子どもを安心して生み育てることのできる環境の整備をより一層推進するとともに、子育てしやすい街の実現に向けて施策の充実を図ること。また、若者の流失を抑制するための雇用促進施策と、安心して働き続けることのできる労働環境の整備をさらに進めること。

2. 子どもの貧困対策

子どもの貧困を生み出している原因や課題を丁寧に掘り起こし、アウトリーチ的な手法を含め、生活・教育・就労等の各分野において実効性のある施策の推進に力強く取り組むこと。

3. 防災対策の強化

北海道胆振東部地震からの早期復旧・復興に向けた取り組み、および被災者支援策のさらなる充実を図ること。また、災害時に求められる地域における人のネットワーク形成、地域防災計画の修正、避難所の運営改善、備蓄物資の見直しや、災害面の学校教育の充実など、防災・減災対策を強化すること。

4. 女性活躍推進

ワーク・ライフ・バランスの取り組みを一層推進していくとともに、働く女性、地域で活動する女性、これから社会にチャレンジする女性の声を反映した実効性のある取り組み、女性の活躍に資する事業、女性が能力を存分に発揮できる環境整備をさらに進めること。

【個別項目】

1. 暮らし・コミュニティ

(1) 町内会・NPO・企業等がまちづくりに参加する機会を拡大するとともに、地域コミュニティへの支援および、地域における活動拠点の整備を引き続き進めること。

- ①町内会活動の担い手育成の支援を行うこと。
- ②企業やNPO等が行う、地域および市民生活向上への取り組みを支援すること。

(2) 支援を必要とする市民が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域単位での保健福祉サービスの向上・拡充に努めること。

- ①地域包括支援センターの機能を強化し、地域の特性に応じた取り組みを推進していくとともに、在宅介護サービスの充実を図ること。
- ②特別養護老人ホームや、認知症高齢者や障がい者のグループホーム等の整備を拡充すること。

(3) 冬の暮らしの安心・安全を確保するための除排雪について、地域や企業との連携を強め充実を図ること。

- ①生活道路と幹線道路との交差点排雪の強化を徹底するとともに、排雪の効率化を図るため、雪処理設備の新設ならびに規模拡充を進めること。
- ②安定した除排雪体制を確保するため、夏に行う道路維持などの一括発注や、地場企業に対する支援をさらに進めること。

(4) 子ども・若者の成長を、社会全体で支えるための取り組みを充実させること。

- ①児童虐待を根絶するための施策および、社会的養護を必要とする子どもへのサポート体制を充実させること。
- ②引きこもりなど社会から孤立する若者への支援を充実させること。
- ③子ども医療費助成制度および、就学支援制度の拡充を図ること。
- ④子どもの放課後の居場所づくりとして、児童会館・ミニ児童会館・民間学童保育等の充実を図ること。

(5) 共生社会の実現に向けた取り組みを一層推進すること。

- ①高齢者・障がい者の社会参加促進に向けて、関係団体・当事者・市民の声を

反映した支援策を講じること。

②社会的少数者への支援策を一層充実させること。

③人種や民族、国籍によって差別や排除がされることのない、共生社会の実現に向けて市民との意見交換を進め、施策を実施すること。

2. 産業・活力

(1) 地元企業の成長・育成に向けて、入札契約制度などをより充実させること。

①地元企業の受注機会を拡大し、地域経済の活性化に努めるとともに、雇用拡大ならびに市内で働く労働者の生活向上に資する施策を充実させること。

②指定管理施設で働く職員の安定雇用や適正な労働条件の確保、生活の向上に結び付く制度の充実に努めること。

③起業を検討する女性・若者などを支援し、市内経済の活性化に結び付けること。

④中小企業・地域商店街の振興に結び付く施策ならびに相談体制を拡充させること。

(2) 企業誘致・雇用施策をより一層推進すること。

①若者・女性・子育て世代の雇用拡大につながる施策を充実させること。

②失業者・生活困窮者・障がい者の相談支援体制の拡充および就労支援策を進めること。

③働く意欲のある高齢者の就職に結び付く施策を拡充させること。

(3) 観光産業の育成・発展に資する取り組みを進めること。

①MICE誘致等による来札者の拡大を目指し、シティプロモートを効果的に推進するとともに、新MICE施設の整備にあたっては、札幌の魅力を発信できる施設になるよう進めること。

②道内企業に対して、市内で開かれる各種イベント等への参加を促し、観光産業の活性化を図るとともに、道内連携を強化していくこと。

3. 低炭素社会・エネルギー転換

(1) 札幌市エネルギービジョンに示した「エネルギーを創造する環境首都・札幌」の実現に向けた取り組みを強力で推進すること。

①太陽光発電やコジェネレーションシステムなど、エネルギーの自立分散化を

強力に進めること。

②省エネ型住宅、集合住宅の高断熱・高气密化の普及促進に向け、市民向け・企業向けの補助を拡充させること。

(2) 災害に強い街づくりや環境に配慮したまちづくりを進めること。

①市有施設において、太陽光発電システムおよび蓄電池等の設置をさらに進めること。

②学校施設での「高气密・高断熱化」を進めること。

③市立高校に「環境防災科」の学科新設を検討すること。

4. 都市空間の整備

(1) 魅力と活力にあふれるまちづくりを進めること。

①地域の生活を支え、区の拠点としての役割を担う地域交流拠点づくりと、区において魅力ある中心核づくりを進めること。

②都心再開発においては、魅力ある賑わいの創出、市民生活の質の向上、経済活性化、雇用創出を考え、引き続き、民間による投資を誘発させること。

(2) 市民生活を守る地域交通ネットワークの拡充・強化を図ること。

①路面電車事業において、持続可能な経営形態の確立をはじめ、まちづくりへの活用を進めること。

②市民の足として暮らしを支える公共交通の拡充・強化など、利便性の向上を図ること。

5. 行財政運営

(1) 将来世代に過度な負担を強いることがないように、健全な財政運営に努めること。

(2) 全職員が高い意欲を持って、いきいきと働けるよう、市役所全体の働き方改革を進めること。

(3) 女性職員が昇任を目指すことができる環境整備のさらなる推進と、女性の管理職登用を積極的に進めること。

(4) 市民に親しまれ、信頼される職員の育成に向けた取り組みを進めること。